

授業科目	臨床心理学研究法特論		担当教員	大野 博之	
展開方法	講義・演習	単位数	2単位 選択	開設時期	後期（集中）
【授業目標】					
<p>現代の複雑な社会において人が生きて、成長していく過程で、多くの困難を抱えるようになった。その内容は、幼児期から高齢期、心理的不適応から心身の障害に至るまで様々な対象においてみられ、かつ、多様多種である。それらの心理メカニズムの理解と援助技法の精緻化のために、臨床心理学研究は欠かせないものである。本講義では、多種多様の事例を用いて、その心理的理解と臨床心理学的実践の詳細を検討、科学的に分析・検証する事例研究の手法を中心として学ぶ。</p>					
【授業方法】					
講義（ビデオ・パワーポイント使用）および実技実習、討論					
【授業計画】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床心理学研究法概論 2. シングルケース研究法 3. 催眠法と事例研究①（先行研究からみる研究法） 4. 催眠法と事例研究②（神経症の事例） 5. 催眠法と事例研究③（脳性マヒの事例） 6. 精神分析と事例研究①（フロイトの研究例） 7. 精神分析と事例研究②（ヒステリー患者の事例） 8. 行動療法と事例研究①（先行研究からみる研究法） 9. 行動療法と事例研究②（系統的脱感作法の事例） 10. リラクゼーション療法と事例研究①（先行研究からみる研究法） 11. リラクゼーション療法と事例研究②（脳性マヒの事例） 12. リラクゼーション療法と事例研究③（うつ・アルコール依存症の事例） 13. リラクゼーション療法と事例研究④（ダウン症児の事例） 14. リラクゼーション療法と事例研究⑤（飛行機恐怖症の事例） 15. まとめ 					
【評価方法】					
出席状況、ディスカッションへの参加度、実技実習における積極性、レポート内容を総合的に評価する。					
【教科書・参考書】					
<p>教科書 大野博之 著「心理リラクゼーション入門—主動型リラクゼーション療法—」遠見書房 参考書 授業の中で紹介</p>					
【学生に期待すること】					
<p>積極的に討論に参加すること。 実技については動きやすい服装（運動服）で臨むこと 統計法などで、心理学の基礎的研究法を復習しておくこと。また、事例研究（金剛出版「臨床心理学 2001 vol. 1, No. 1（特集：事例研究）」、及び「同誌2008 vol. 13, No. 3（特集：研究の方法を知る）」など、研究に関する基礎的情報を収集しておくこと。</p>					